

担当：地域振興課
電話：272-8080

目次

迎春	1
新春インタビュー	1～ 3
“特集”	4～ 7
美杉の地域医療を考える 一志病院の取り組み	
各地区文化祭・秋まつり	8
多気の郷元気づくり協議会 芝桜植栽イベント	8
美し国おこし・三重 パートナー グループ座談会(下之川)	8
地域の医療を大切にす地域 づくりワークショップ(第3回)	9
地域審議会	9
田舎暮らし研修会	9
森林セラピー基地実証実験	9
チャリティゴルフ寄付金寄贈	9
人権を考える集い	9
お知らせ	10

【編集の記】

美杉だよりも、3回目の新春を迎えました。今年の表紙は少し趣を変えて、この地域に古くから伝わる「花餅」にしてみました。

写真撮影にご協力いただいた「町屋花餅づくり同好会」の皆さん方には、作業中にも関わらず、大変ご親切に色々なことを教えていただきました。

新春インタビューにお答えいただいた菅尾忠男さんには、大変長い時間ご協力をいただきました。

取材にご協力いただいたたくさんの方の皆さん、本当にありがとうございました。



迎春 平成25年元旦

新しい年の門出を寿ぐため、家々に花餅が飾られます。花餅をつくっているのは、上多気町屋花餅づくり同好会の皆さんです。赤と白のコントラストが、みごとです。昔は、この花餅をそれぞれの家ごとにつくって飾られたそうですが、今は、みんなが寄り合って、共同で製作するようになったのだそうです。(写真は、イベント土産品製作の様です。)

平穏、無事、そして地域が輝く年でありますように。

新春インタビュー

竹原地域にお住まいの、今年年男を迎えられる菅尾忠男さんに、今年の抱負などを伺いました。

菅尾忠男さん(96歳)

①全国老人クラブ表彰は、青森でいただきました。平成17年には旭日単光章の叙勲もいただき、今年、ゲートボールに皆勤で参加させていただきました。自分たちがつくった竹原の「はつらつ教室」にも楽しく出席させていただいたのが、何より印象に残る1年の思い出です。

②美しい森林ときれいに澄んだ空気です。製材業を営んでいたのですが、父親が村長をしていたこともあり、若い時から家業の手伝いをしなければならなくなり、美杉中の森林を歩きまわりました。他の地域では育たないような立派な杉や檜が美杉の誇りだと思っています。

③月に一度一志病院で診察を受け、毎朝、毎夕に小1時間ほどの散歩を楽しみ、一志病院で勧められている野菜ジュースを自分で作り、毎日の昼食時にいただく。そんな平凡な毎日をこれからも続けられることが、これからの心ばかりの希望です。



新春インタビュー

萩野勝枝さん(84歳)



①吉田沙保里さんの金メダル。10月には、三重県初の国民栄誉賞の受賞と大活躍でした。今年もよい年であってほしいと願っています。

②美杉は、とても自然に恵まれています。この自然をこれからも大切にしていきたいと思います。新鮮な自然の恵みもたくさんいただけます。水もお茶も、とても美味しいです。君ヶ野ダムの紅葉や桜も、すごくきれいです。

③去年は、私にとって充実した1年でした。今年も、健康で、元気に明るく暮らせればと願っています。私は、話が大好きです。

美杉地域にお住まいの、今年に年男、年女を迎えられる方々に、今年の抱負などを伺いました。ご協力いただきました皆さんには、この場をお借りして、心からお礼申し上げます。

インタビューの内容は、①平成24年中で最も印象に残ったこと、②美杉地域の中で好きな場所や自慢したいこと、③今年の抱負や希望です。なお、美杉小学校5年生の皆さんには、「**将来の夢**」を書いていただきました。

平尾信次さん(72歳)

①畑で野菜を栽培しているのですが、去年は雨の欲しいときに必ず降ってきて、農作物の出来が例年以上に良かったと、夕食時に家族でいつも話し合い、自然の恵みに感謝しています。

②何といっても、山が一番の誇りです。山は私たちがいつでも優しく受け入れてくれますし、山菜など山の幸も豊富で、いつも人々を元気にしてくれます。

③選挙も終わったので、これからは世の中が平和で、実りのある世の中になるような、良い環境づくりに全力を注いで欲しいです。



①女子レスリング吉田沙保里選手の前人未到の偉業と三重

県民初の国民栄誉賞の受賞は、同県民として誇りでもあり、感動しました。

②逢坂地区の「女郎石弁財天祭」。南北朝時代、この地に身を寄せ、短い生涯を終えた宮中女官、豊姫さまを偲んで、地元住民により代々守り継がれ、毎年(4月第一日曜日)、ほのかな竹の香りに包まれた祠の前で、祭典、ごくうまき、菓子まきが行われます。小さな地区の歴史に触れに来ませんか。

③働く意欲を失わず、今の自分に出来る事をしっかりとやっけていく。そして、孫の笑顔に癒され、成長に夢を見せてもらいながら、身の丈にあった日常生活を送る事。

樋口信子さん(60歳)

坂元俊文さん(48歳)

①5月21日、この地域で282年ぶりに観測することができた金環日食です。私も、早朝より息子とふたり、わくわくしながら手作り観測めがねを使って観測しました。とても神秘的で、感動しました。次回、この地域で観測できるのは29年後らしいのですが、今度は孫と一緒に観測できたらと思います。

②春は桜、夏は清流、秋は紅葉、冬は樹氷。四季折々に魅せる美杉の大自然の姿が自慢です。

③今年も1年、平穏無事に過ごせたらいいと思います。我が家には二人子どもがいますが、二人とも4月から新しい生活が始まります。いろんな事にチャレンジして、楽しんでほしいと思います。



新春インタビュー

中川実佳さん(36歳)

③特別なことは望みません。家族みんなが元気で過ごせたらいいなあと思います。

①大好きな友達や家族に囲まれて、最高の結婚式ができたこと。

②家の近所、仕事から帰る途中、星がふるように綺麗なところ。鹿にも会います。



①ロンドンオリンピックです。特に、男子競泳メドレーリレーで個々の実力を存分に発揮し、チームワークで採った銀メダル、体操の内村選手がスランプや周りからのプレッシャーの中、堂々と金メダルをとったときは感動しました。

②自然に恵まれているところです。今でも山の湧水を飲み水として美味しく活用できることは自慢できます。

③今まで大きな病気やケガもなく過ごせたことに感謝し、今年は体をきたえ、いろいろチャレンジしたいです。

金山由樹さん(24歳)

将来の夢

美杉小学校5年生(12歳)

大島悠華さん「保育士になりたいです。理由は、小さい子が好きだからです。それか、給食を作る人になりたいです。両親が料理関係の仕事をしていたからです。」

岡田主也さん「ガンバ大阪の選手になりたいです。今ならっている白山サッカーをもっともっとがんばって、ガンバ大阪に入りたいです。」

岡野 稜さん「ぼくは、料理人になりたいです。具体的には、まだ解明されていない食材を調理してみたいし、みんなが泣けるほどおいしい料理を作りたいからです。」

奥坂望頼さん「仏像を直す人になりたいです。古い仏像やお寺を再建して、みんなに見てほしいからです。」

奥村太一さん「野球選手になりたいです。野球が好きで、ソフトボールをやっているからです。」

片野泰作さん「ぼくは、マッサージ屋さんになりたいです。腰が痛い人などのマッサージをしてあげたいからです。」

亀本航平さん「野球選手になりたいです。ソフトボールをしているからです。野球はおもしろいと思うからです。」

北島侑樹さん「ぼくは、サッカー選手になりたいです。そのわけは、サッカーが好きだし、おもしろいからです。」

坂岡拓武さん「ぼくは、かわらやになりたいです。なぜかというと、お父さんもおじいさんもやっていて、それをつぎたいからです。」

笹原紗菜さん「私は、パティシエになりたいです。みんなに食べてもらって『おいしい』と言ってもらいたいからです。」

嶋田 暉さん「ぼくは、自分が運転する車で、親子だけで、旅行がしたいです。理由は、親子だけで楽しみたいからです。」

菅尾佳恵さん「お茶屋さんになりたいです。理由は、わたしの家はお茶屋さんで、お父さんの仕事をつぎたいからです。」

長田有沙さん「わたしの将来の夢は、歌手になりたいです。理由は、わたしは歌が好きだし、みんなに聞いてほしいからです。」

福地なつみさん「保育士になりたいです。わたしが保育園にいた時の先生に、あこがれたからです。」

堀井さよりさん「パティシエになりたいです。おいしいケーキやおかしを作って、みんなが笑顔になるといいなと思うからです。」

森 悠真さん「プロ野球選手になりたいです。活やくしたら給料が高くなるし、球場が変わるたびに名物を食べることができるし、野球が好きだからです。」

安木晴哉さん「名古屋グランパスの選手になりたいです。理由は、名古屋グランパスが好きで、プレーがしたいからです。」

山本青奈さん「わたしは、保育士になりたいです。理由は、小さい子と遊ぶのが好きだし、小さい子が好きだからです。」

米倉由季乃さん「私は、赤ちゃんを保育する人になりたいです。理由は、私のいとこが全員五才以下なので、正月とかに帰ってくるので、よく面倒をみるからです。」



“特集” 美杉の地域医療を考える

美杉地域の現状ときっかけづくり

I

過疎、高齢化の進行が激しい美杉地域においては、平成23年度の1年間で170人の人口が減少し、今年12月1日現在の人口は5,375人となっています。

このうちの高齢者人口は2,758人で、高齢化率は51.3%にまで上昇しました。この現象は、今後も続いていくものと思われます。このような高齢過疎地域である美杉において健康で安心して暮らしていくためには、地域における医療を守り、充実させていかなければなりません。

この状況の中で、津市美杉総合支所の有志職員は、当地域の地域医療への危機感を持ち、昨年度から、市立三重短期大学の「政策研修」に参加し、「美杉地域の医療を大切にする地域づくり」をテーマとした研修に取り組んでいます。この研修の一環としてワークショップを開催し、地域の皆さんにご協力をいただき、県立一志病院の先生方にもご参加いただき、各地域にお邪魔して当地域の地域医療に関する住民の皆さんのご意見を聞か

せていただけてきました。

住民の皆さんも当地域の医療環境については深刻に受け止められ、たくさんの貴重なご意見をいただきましたが、この中で、「一志病院の現在の地域医療への取り組みを知らなかった」とか、「一志病院のことをもっとPRすべきだ」とかいったご意見をたくさんの方からいただきました。



一志病院の先生もワークショップに参加していただきました

県立一志病院の取り組み ……

しかた

四方院長に聞く ……

そこで、「美杉だより」としても、一志病院の現在の取り組みを取材し、地域の皆さんにご紹介しようと考え、院長の四方哲先生と運営調整部長の伊藤博史さんにお話を伺って



取材に応じていただいた四方院長と伊藤部長

きましたので、その概要をお伝えすることにします。

当地域の地域医療を考えるためには、当地域や近隣地域の医院、診療所、あるいは保健、介護、福祉の分野の方々にもぜひお話を伺う必要がありますが、今回は、まず一志病院の取り組みをご紹介させていただきます。

一志病院では、平成19年から「家庭医療」の取り組みを開始し、今年からは家庭医療を核とした「地域医療モデル」づくりと地域医療を担う医師の人材育成に取り組んでおられます。

“特集” 美杉の地域医療を考える (県立一志病院の取り組み)

一志病院が目指す「家庭医療」とは

II

「子どもからお年寄りまで年齢を問わずあらゆる病気からケガまで診療内容を問わずに診療し、一志病院で対応できない治療については他の専門病院を紹介する。そんな総合医療を目指したい。内臓の問題から皮膚や整形、心の問題までも含めた幅広い治療、そして健康診断などの予防医療にまで取り組んでいる」のだそうです。

な総合医療を目指したい。内臓の問題から皮膚や整形、心の問題までも含めた幅広い治療、そして健康診断などの予防医療にまで取り組んでいる」のだそうです。

一志病院が目指す「地域医療」とは

「一志病院が目指す『地域医療』とは、予防（保健）、医療、介護、福祉の分野が連携し、民生委員、社会福祉協議会、地域住民の皆さん方に協力していただくネットワークをつくり、治療などを必要とする個人の方を地域全体で見守る体制（「地域包括ケア」）を確立することだ」と、四方院長は話されます。



四方院長

住民主体の「話し合いの場」づくり

「地域医療には、話し合いの場としての住民主体の組織づくりが大切。病院のあり方や美杉地域住民の役割などをみんなで話し合う場が必要だ」と強調されました。「診療所と一志病院との関わりも少ないので、地域が立ちあげる協議会には、診療所

の先生方も参加していただければ」と期待されています。その住民主体の組織というのは、「初めは、住民が、医療機関や行政と一緒に話し合う勉強会だと考えれば分かり易いのではないか」ということでした。

「地域ケア会議」の設立

「家庭医を核とした地域医療モデルづくりに取り組みたい。地域医療モデルとは、保健と医療と介護、福祉の連携による『地域包括ケアシステム』。保健センターの保健師、社会福祉協議会や地域包括支援センターの職員も参加して、既に『地域ケア会議』というものを立ち上げた。（折り込みの「白山・美杉地域ケアだより」をご参照ください。）今後はこの『ケア会議』を個別の患者さんごとの見守り方を議論する場にしていきたい」と夢も語られます。

「地域住民が主体となる組織と『地域ケア会議』とは別の組織ではあるが、テーマ

によっては両組織が連携していくことも必要だ」とのことでした。



健康の集い

“特集” 美杉の地域医療を考える (県立一志病院の取り組み)

Ⅲ

一志病院の「救急診療」

休日・夜間の受入れ態勢

「とりあえず電話で相談してもらい、一志病院で対応するのか、他の病院を紹介するの

か、救急車を呼ぶべきものなのかを判断させて欲しい」とのことでした。

救急車の受入れ

「まずは救急隊員が判断する。一志病院で対応可能な病状なのかどうかは一志病院と救急隊員で相談し、受け入れ可能な症状であれば、一志病院で受け入れる」とのことでした。

一志病院の「予防医療」

人間ドックや住民検診にも取り組んでおられます。



ワークショップで熱心に意見交換をする住民の皆さん

「津市総合計画後期基本計画(案)」にみる地域医療

合併後初めて策定された「津市総合計画」は、平成20年度から平成29年度の10年間を計画期間とし、「前期基本計画」が今年度をもって終了することから、各地域審議会などのご意見を伺いながら、来年度から5年間の津市の行政の取り組み目標としての「後期基本計画」の策定作業が進められています。

この「後期基本計画(案)」の「安全で安心して暮らせるまちづくり」の中にも「地域

医療体制の充実」という項を設け、重点施策として取り組むことが明記されています。

「かかりつけ医等の普及」では、「日常の健康管理と大学病院等の高次医療機関との病診連携を進めるため、市民一人ひとりにかかりつけの医院・歯科医院・薬局を持つように啓発を行います」とし、「地域医療体制の充実」では、「三重大学、三重県及び県立一志病院との連携をもとに、……、住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域医療の体制の確立に取り組みます」としています。

また、「地域かがやきプログラム」の美杉地域における施策の一つとして、「地域住民の健康づくり支援や高齢過疎地域における医療体制の確立を目指す」ことを明記しています。

来年度以降の5年間でこれらの目標を達成していくためにも、一志病院の地域医療、家庭医療の取り組みと呼応して、美杉地域内の診療所や近隣地域の医院の協力も得ながら、地域内での活発な活動を展開していかなければなりません。地域住民の皆さん方にも積極的な取り組みをお願いしたいと思います。



ワークショップに参加いただいた一志病院の先生

一志病院の診療内容の紹介

内科

月曜日から金曜日
8時30分～12時
13時～16時
(急患は365日、24時間)
まずは電話で相談を！
(☎) 262-0600

外科

水曜日・木曜日
8時30分～11時30分

眼科

水曜日・金曜日
8時30分～11時

手術

ケガやできものの処置など、局所麻酔で対応できるものだけを行っています。

訪問診療 ……往診との違い……

往診は急患を診察するために自宅を訪問しますが、訪問診療は一度治療が終わり、状態が安定している患者で、通院ができない患者のために定期的、計画的に自宅を訪問して診察します。

訪問看護

看護師が定期的に自宅を訪問し、健康状態のチェックなどを行います。

訪問リハビリテーション

理学療法士が定期的に自宅を訪問し、基本動作の訓練などを行います。介護保険の要介護認定を受けた人が対象です。

休診日

土曜日・日曜日・祝休日・
年末年始
(12月29日～1月3日)



一志病院の診察室前の風景



県立一志病院

各地区の秋まつり開催

11月は各地区で秋まつり(文化祭)が開催されました。各地区での様子をご紹介します。



11/11 太郎生地区秋まつり
太郎生保育園児による
ステージ発表がありました。

11/11 伊勢地秋まつり
バンド演奏への飛び入り参加で、
大いに盛り上がりました。



11/11 やわた秋まつり
たくさんの作品が
出品されました。



11/18 多気地区文化祭
地域の伝統、丹生俣神楽保存会に
よる獅子舞が披露されました。

11/25 竹原地区文化祭
恒例の「たまごつかみ」に
長蛇の列ができました。



11/25 下之川地区文化祭
今年は体育祭も同時に行われ、
大勢の方が競技に参加されました。

多気の郷元気づくり協議会 「第3回歴史の郷ウォークと芝桜の植栽」イベント開催

11月25日(日)、津市内より40人の参加者を迎え、イベントを開催しました。参加者は、下多気を中心とした「町歩きコース」と飼坂峠越えの「伊勢本街道コース」に分かれ、晴天に恵まれた紅葉真っ盛りな多気の郷の散策を楽しめました。

昼食は、スギタケの炊込みご飯と地元野菜たっぷりの豚汁でもてなし、午後は道の駅美杉の土手に芝桜苗1000株を全員で植付けました。

参加者は、「里山のきれいな空気にふれりフレッシュ出来ました。」と喜んでいただきました。今回は、「多気老人クラブ」「伊勢本街道ガイド」「町屋花餅づくり同好会」「ボランティア」等、地域の方々を巻き込んでのイベントとして開催出来た事を嬉しく思います。



下之川地域元気づくり協議会

美し国おこし・三重 パートナーグループ座談会



11月8日(木)、下之川地域住民センターにおいて、三重県が地域力・文化力を地域住民が主体となって高めていこうという「美し国おこし・三重」の取り組みを進めるひとつとして、各地域づくりグループなどをつなげていくためのパートナーグループへの登録に必要とする座談会が行われました。

今回、現在の協議会活動を更に推進するため、このパートナーグループへの登録を行おうと下之川地域元気づくり協議会とこの取り組みを進めるプロデューサーや県地域連携部の担当者との意見交換や現在の活動状況やこれからの活動計画など活発な話し合いが行われました。

地域の医療を大切にする地域づくり ワークショップ(第3回)

11月12日(月)から16日(金)の5日間連続で、各地区をまわり、ワークショップを開催しました。

付箋紙や模造紙を使い、たくさんの意見をいただきながら実行計画策定作業を行いました。

この意見をこれからの地域医療政策に活かせるよう研究・研修に励みます。ご協力ありがとうございました。



田舎暮らし研修会

11月11日(日)、12月2日(日)に美杉地域で、第2回及び第3回「田舎暮らし職業研修会」が開催されました。

第2回の研修は「有機農業コース」で、田舎暮らしアドバイザーの片野真一郎さんが講師として、研修生の方に実践を交え講義を行いました。

また、第3回は「農家民宿経営コース」で、田舎暮らしアドバイザーの岩田二三男さんが講師として、研修を行いました。

参加された研修生のみなさんは、熱心にアドバイザーの研修に取り組み、質問する姿が見られました。参加者からは、今後も、このような実践を交えた研修会を希望されており、アドバイザーの方の活躍が期待されます。



美杉町チャリティゴルフ実行委員会から 美杉地区社会福祉協議会へ寄贈

11月29日(木)、美杉ゴルフ倶楽部で9月5日に開催されたチャリティゴルフ大会(152人参加)の寄付金が、鳥谷尾実行委員長から田中会長へ寄贈されました。



第6回地域審議会

11月15日(木)、美杉地区地域審議会(海住佳子会長)の本年度第6回会議が、美杉総合開発センターで開催されました。

前回に引続き、津市総合計画後期基本計画(案)について、審議がされました。

今回は、政策財務部政策課の職員が、津市総合計画後期基本計画(案)について説明し、その後、委員のみなさんからご意見をいただき、熱心に審議がされました。今後、この計画案をもとに、さらにご審議いただき、最終案が作成される予定です。



森林セラピー基地 ヘルスツーリズム実証実験

12月9日(日)、三重大学医学部看護学科と連携し、森林セラピー基地における医学的根拠を高め、健康増進基地としての活用を促進しようと調査研究を進める実証実験の第4回目が伊勢本街道コースで実施されました。

今回も、同大学付属病院に勤務される看護師の参加協力の下、地域が活用に取り組んでいる歴史的コースでのデータ取得が行われました。

本年度の現地における実証実験は今回が最後で、この後、同大学医学部によるデータ解析結果等が報告されます。



美杉人権を考えるつどい

12月9日(日)、美杉総合開発センターにおいて「美杉人権を考えるつどい」が開催され、雪の舞う中60人余りの方が来場されました。第1部は小・中学生による人権作文の発表と教育集会所中学生学習会メンバーによる発表がありました。第2部は徳島県の「止揚の会」事務局の大湾昇さんによる講演で、心理テストや紙芝居を交えながら、今まで出会った子どもたちの話や体験などの事例をあげ、知らないことの怖さ、学ぶことの大切さについてエネルギーにわかりやすく語っていただきました。



健康相談

下之川地域住民センターで健康相談を実施しています。
 血圧測定や尿検査等を無料で実施しています。是非ご利用ください。

自分の健康は自分で守り、いきいき人生をたのしみましょう。

月	日	時間	健康相談	健康相談員
1月	7 (月)	13:30 ~ 16:30	○	田中医師
	15 (火)	14:30 ~ 17:30	○	田中医師
	22 (火)	9:30 ~	○	河野保健師
	29 (火)	12:30	○	本郷保健師

問い合わせ：☎276-0333 (相談時のみ)

☎272-8084 (相談日時以外) 美杉総合支所市民福祉課につながります。

障がい福祉 市民福祉課 問い合わせ：☎272-8084 (美杉総合支所市民福祉課)

障がいのある方は、次の手帳の交付を受けていろいろな福祉制度のサービスを受けることができます。
 お気軽に美杉総合支所市民福祉課までご相談ください。

①身体障害者手帳

肢体不自由・視覚・聴覚又は平衡機能・音声・言語又はそしゃく機能・心臓・腎臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・免疫・肝臓の機能に永続する障がいがある場合、その程度により1級から6級までの区分があり手帳が交付されます。

②療育手帳

知的障がいのある方に、障がいの程度によりA1 (最重度)・A2 (重度)・B1 (中度)・B2 (軽度)の区分があり手帳が交付されます。

③精神障害者保健福祉手帳

精神障がいのために長期にわたり、日常生活又は社会生活の制約のある方に、その障がいの程度により1級から3級まで区分があり手帳が交付されます。

健康教室 三重県立一志病院

第3回 『もの忘れしていませんか?』 講師：和田健治 (一志病院医師)

日時 1月15日 (火) 13時~14時 場所 一志病院 管理棟2階会議室

申し込み 参加ご希望の方は、事前に予約が必要ですので、電話、FAX、電子メールのいずれかによりお申し込みください。(当日参加も可能です)

申し込み・問い合わせ先 三重県立一志病院 外来 津市白山町南家城616

☎262-0600 (内線110) FAX262-3264 電子メールihos@pref.mie.jp

~森もり元気になろに!美杉~ (健康づくり推進員) からのお知らせ

私たち“健康づくり推進員”は、みんなで一緒に健康づくりをすすめるための活動を行っています。

今年度の第3回目は、ビタミンCやカルシウムが豊富に含まれている「白菜」を使った料理を計画しました。

私たちと一緒に白菜料理に挑戦しませんか?

ご家族・お友達をお誘いの上、ぜひご参加ください!

※森もり元気になろに!美杉は「津市健康づくり推進連絡協議会 美杉支部」として平成23年4月に発足しました。
 みなさんと一緒に健康づくりを考えていく団体です。



日時：1月18日 (金) 10時~14時

場所：美杉総合開発センター 調理室

定員：先着20人

参加費：100円 (保険代含む)

持ち物：エプロン・三角巾・ふきん・手拭きタオル

申し込み：1月4日 (金) から

美杉保健センター (☎272-8089) へ

【電話番号】 美杉総合支所

地域振興課 059(272)8080・8082・8085

市民福祉課 059(272)8083・8084

行政相談日程

日時：1月17日 (木) 13:30~15:00

場所：伊勢地地域住民センター(美杉町石名原)

*主な電話番号を記載しましたが、その他の電話番号などは、電話帳でお調べいただくか、美杉総合支所へお問い合わせください。